

五所塚だより

発行:五所塚町内会
編集責任者:高久 實
問合せ先:044-900-3601

宮前区

安心・安全
心豊かな生活が
送れる五所塚

「五所塚まつり」今年も大変残念ですが中止とさせていただきます！

日頃から町内会活動にご支援、ご協力頂きありがとうございます。

さて、コロナウイルスのまん延防止等重点措置が7月11日まで延長される中、ワクチン接種は急速に進みつつあります。しかし、五所塚まつり開催時期(10月初旬)に、ワクチンの集団免疫と言う状態には未だ先との推測です。町内会理事にて協議した結果、コロナ感染への不安がある中での五所塚まつりは中止すべきであるとの全会一致で結論に至りました。大変残念ですがみなさまご了承頂きたいと思っております。来年こそ安心して安全な五所塚まつりが開催されることを楽しみにしております。

五所塚誕生 60 周年記念事業について

昭和34年～35年川崎市による宅地開発により、長尾と平の山を切り崩し、谷を埋める大規模な宅地造成が行なわれ、昭和36年「五所塚団地」と名付けられ、独立した15.4ヘクタールの区域ができました。それから今年で60年を迎えます。人間で言えば還暦です。

還暦という言葉の意味は、日本でもおなじみの十二支(じゅうにし)と、「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の十干(じっかん)の組み合わせは、60種類にもおよび、人間が生まれてから60年経つと、この60種類の干支が一巡します。このことから「生まれたときと同じ暦に還る(赤ちゃんに還る)」という意味で「還暦」と呼ぶようになりました。五所塚町内会も、気持ちを新たに活動して参ります。

そこで、記念事業として60周年記念誌の発行、配布及び記念品をお配りする計画です。(10月予定) 記念誌発行の目的…これまでの歴史を整理し、後世へ引き継ぐこと。また、五所塚の良さをお互いに再確認するなど、より良いコミュニティの形成に繋がると考えております。

また、記念誌には「みなさまの紹介コーナー」を設け、みなさまから原稿を募集し、編集して掲載致します。アットホームな楽しい記念誌を作りたいと考えております。みなさまへご協力をお願いすることになりますが、その際はよろしくお願いたします。

<50周年記念パンフレット及び記念樹配布風景> 平成23年(2011年)10月



❖ 公園に綺麗な花が植えられました ❖

6月 21 日(月曜日)市から緑化支援物資の花(360 株)が、五所塚第1公園・第2公園・会館前花壇へ届きました。公園管理運営協議会の皆さまが、公園の特徴を活かした花壇へ色々な花が植えられ、憩いの場所になることを嬉しく思います。しかし、公園の維持管理をこれまで行ってこられた皆さまも高齢化が進み、公園の草刈りや花植えなどの新たなボランティアを募集しております。花と緑豊かな住宅街を目指して、皆さまと共にきれいな公園をこれからも作りあげましょう。



❖ 資源集団回収について ❖

町内会の資源集団回収(毎週木曜日)へご協力いただきありがとうございます。
回収量 1Kg 当り、市からの奨励金は 3 円です。

2017 年-108,000 円 2018 年-105,000 円 2019 年-101,000 円 2020 年-107,000 円

なお、上記奨励金は、収支決算書の収入の部(4-3 雑入)として計上され、町内会活動資金として運用されております。今後とも資源回収へご協力をお願い致します。

❖ 切通し坂の道路工事について ❖

朝夕、通勤時間帯の渋滞が解消され、上下線とも車両は順調に通抜けしております。しかし、改修工事は半ばであり、次回の工事予定は、7月下旬以降とのことです。(多摩区役所道路公園センター)

また、歩道については、今年度中は片側通行の予定です。自転車は、歩行者に十分注意を払い安全通行にご協力ください。

❖ 向ヶ丘遊園跡地利用計画について ❖

小田急電鉄(株)は、向ヶ丘遊園跡地へ、温浴施設・商業施設・自然体験エリアの開発について、2021年6月1日工事着工、2023年12月31日工事完了との計画を発表しました。しかし、コロナ感染拡大による様々な影響により工事が遅れております。

❖ 向丘出張所の機能向上を目指して ❖

川崎市は、宮前区役所を令和 10 年~12 年に、市民館・図書館は令和 7 年~8 年に鷺沼駅前へ移転する計画です。そこで向丘地区連合自治会(五所塚町内会など)は、向丘出張所の機能向上(一般届出手続きや証明書発行手続き及び地域ケアシステムの充実など)を目指して、川崎市と継続して協議を行っております。